

科目名		情報処理 I (Information Processing I)							
学 年		単 位 数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第1学年	電気工学科	履修 2単位	—	講義・演習	通年 90分/週	60時間			
担当教員	【非常勤】岡村好庸								
学 習 到 達 目 標									
科目の到達目標レベル	(1) VBを利用して基本的なアルゴリズムを理解し、図式表現や初等的なプログラミングができる。 (2) 数値計算など初歩的演算の仕組みを理解できる。 (3) データの型とデータ構造が理解できる。 (4) 構造化プログラミングの基礎が理解できる。 (5) 情報伝達システムおよびインターネットの仕組みを理解し、実践的に使用できる。 (6) 情報セキュリティの必要性、インターネットを用いた犯罪例などを知り、様々な脅威の実態とその対策について理解できる。 (7) 個人情報とプライバシー保護の考え方について理解し、正しく実践できる。								
学習・教育目標	(B)	JABEE基準1(2)		—					
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材									
関連科目									
教科書	自作テキストを用いる								
補助教材等	VB2010のマニュアル								
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	50	50							100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎							/
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言									
各回ごとに作成するプログラムの説明をして、次に資料にしたがって実際に練習用のプログラムを作成し実行します。最後に、課題プログラムにチャレンジします。説明のときはよく聴いて理解するようにしてください。プログラムは習うより慣れるといいです。できるだけ多くのプログラムを作るように心がけてください。									

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	リテラシー	情報処理演習室の使い方やシステムを理解する。それにともない、インターネットを用いた犯罪例などを学習する。	第1回目の内容を復習する
2	VBIについて	VBログインログオフができる。	第2回目の内容を復習する
3	ラベルコントロール1	ラベルの貼り付けと表示方法を理解する。	第3回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
4	ラベルコントロール2	ラベルの代表的なプロパティを学習する。	第4回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
5	ラベルコントロール3	フォームのロードイベントでラベルに文字を表示する方法を学習する。	第5回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
6	ラベルコントロール4	フォームのロードイベントでラベルのプロパティを設定する方法を学習する。	第6回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
7	ボタンコントロール1	ボタンのクリックイベントについて理解する。	第7回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
8	ボタンコントロール2	メッセージボックスについて学習する。	第8回目の内容を復習して、課題実習を完成する。今までのまとめを行う。
9	中 間 試 験		
10	試験問題解説とコンピュータの仕組み	コンピュータはどのように1と2を足すのかをデータの流を通して初歩的演算の仕組みを理解する。	第10回目の内容を復習して、次回の予習をする。
11	ボタンコントロール3	有効無効と可視不可視のプロパティについて学習する。	第11回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
12	テキストボックスコントロール1	文字列入力と表示について学習する。	第12回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
13	テキストボックスコントロール2	数字の連結と加算について学習する。テキストボックスの複数行表示について学習する。	第13回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
14	テキストボックスコントロール3	テキストチェンジッドイベントを理解する。テキストボックスのクリックイベントを理解する。	第14回目の内容を復習して、課題実習を完成する。今までのまとめをする。
	期 末 試 験		
15	試験問題解説、ホームページ作成1	情報伝達システムおよびインターネットの仕組みを理解する	情報伝達システムについて図書館等で調べる。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	ホームページ作成 2	ホームページの基本的な書き方を理解する。	第18回目の内容を復習して、次回の予習をする。
17	ホームページ作成 3	ホームページを作成する。	第19回目の内容を復習して、次回の予習をする。
18	ホームページ作成 4	リンクや写真貼り付けをしてホームページを完成する。	第20回目の内容を復習して、次回の予習をする。
19	ホームページ作成 5	インターネットを実践的に使用できる。その際に情報セキュリティの必要性や様々な脅威の実態とその対策について理解し、個人情報とプライバシー保護の考え方について理解を深める。	情報伝達システムにおけるさまざまな問題点を図書館等で調べる。
20	変数と整数型データ	変数はデータを格納する箱であることを理解して、整数型データの4則演算を実習する。数値計算など初歩的演算の仕組みを理解する。	第20回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
21	浮動小数点型データ 1	浮動小数点型データについて学習する。	第21回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
22	浮動小数点型データ 2	数学関数を用いたプログラムを実習する。	第22回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
23	接続構造とメッセージボックス	接続構造を理解する。メッセージボックスを復習する。コメント文の書き方を学習する。	第23回目の内容を復習して、課題実習を完成する。今までのまとめをする。
24	中 間 試 験		
25	試験問題解説、オーバーフローチェック	整数型データ、浮動小数点型データには扱える範囲があることをオーバーフローを検証するプログラムを作成して理解する。	第25回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
26	選択構造 1	Ifステートメントにおける2分岐および多分岐の選択構造を理解する。	第26回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
27	選択構造 2	Selectステートメントにおける2分岐および多分岐の選択構造を理解する。	第27回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
28	反復構造 1	Forステートメントにおける反復構造を理解する。	第28回目の内容を復習して、課題実習を完成する。次回の予習をする。
29	反復構造 2	Doステートメントにおける反復構造を理解する。	第29回目の内容を復習して、課題実習を完成する。いままでのまとめをする。
	期 末 試 験		
30	試験問題解説、および、授業評価アンケートをおこなう。	全体の学習事項のまとめを行う。	
総 授 業 時 間 数			60 時間